

企業版ふるさと納税について

【発表の要旨】

家入一真氏が代表取締役を務める企業から、本市の地域再生を図るために行う事業に役立ててほしいと、寄附金が納付されました。

本市が展開する起業志民プロジェクトに対し、「無償で起業家を育て続けている社会的に意義ある事業」と評価した上で、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附（企業版ふるさと納税）を申し出ていただいたものです。

なお、本市における企業版ふるさと納税の受領は、今回が初となります。

1 寄附者

家入 一真（いえいり かずま）

※家入氏は、無償でプログラミングを教えるスパルタキャンプ理念の発案者であり、名付け親でもある。

2 寄附年月日

令和3年6月29日

3 起業志民プロジェクトについて

住むところに関係なく、誰もが自由に働き方を選べる社会を実現しようと、八幡平市が平成27年から開始した事業。スパルタキャンプを通じて、無償でプログラミングなど起業に必要な技術や知識を教えるとともに、5年間無償で利用できるシェアオフィスである八幡平市起業家支援センターを提供している。

事業計画の立案から投資家とのマッチングまでを総合的に支援しており、育てた起業家が次世代の志ある者を育成するエコシステムを形成。本プロジェクトを契機にこれまで市内に10社が設立されている。

令和3年度から人口減少が進む過疎地における医療と福祉を持続可能にすることを目的に、未来技術を社会に実装する「八幡平市メディテックバレーコンソーシアム」を設立。内閣府の地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）にも採択されており、今回の寄附が充当されるものである。

【担当】

企画財政課 行政経営係

係長 伊藤 徹哉

電話 0195-74-2111（内線 1207）